

第1章 調査概要

1. 調査の目的

この調査は、福山市内の企業を対象としたモデル退職金の実態を明らかにし、企業における人事労務管理の参考に供することを目的とする。

2. 調査の時点

平成29年8月現在

3. 調査の対象

福山商工会議所の会員企業のうち、市内に本社を置く、常用労働者数20名以上の企業、770社

4. 調査の項目

モデル退職金（モデル退職金とは、学校を卒業して直ちに入社した方が、当該企業の退職金規定のもとで、普通の能力と成績で勤務した場合に、どの程度の退職金が支給されるかを算出したもの）

5. 調査票の配布数、有効回答数、有効回答率

調査票は770社に配布した。有効回答数は224社で、有効回答率は29.1%となった。

6. 回答企業の状況（業種別、常用労働者数別）

回答企業224社を業種別にみると、「製造業」が64社（構成比28.6%）、次いで、「サービス業」が48社（同21.4%）と、「製造業」と「サービス業」の2業種でちょうど半数（112社、50.0%）を占めている。

回答企業224社を常用労働者数別にみると、「20～30人」が69社（構成比30.8%）、次いで、「31～50人」が55社（同24.6%）と、常用労働者数20人～50人の企業で過半数（124社、55.4%）を占めている。

図表1 回答企業の状況（業種別、常用労働者数別）

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	64	28.6
サービス業	48	21.4
卸売業	26	11.6
建設業	24	10.7
小売業	22	9.8
運輸業	20	8.9
医療・福祉	12	5.4
金融・保険・不動産	8	3.6
合計	224	100.0

常用労働者数	回答企業数	構成比(%)
20～30人	69	30.8
31～50人	55	24.6
51～100人	41	18.3
101～300人	42	18.8
301～500人	10	4.5
501～1,000人	3	1.3
1,001人以上	4	1.8
合計	224	100.0

（注）四捨五入の関係で、構成比の内訳と合計が異なる場合がある。

また、無回答は除いて集計しているため、調査の有効回答数と各図表内の合計が異なる場合がある。以下同様。

第3章 モデル退職金

1. モデル退職金（全体）

モデル退職金（学校を卒業してすぐに入社し、普通の能力と成績で勤務した場合の退職金水準）をみると、定年退職での支給額は、高校卒が774.2万円、高専・短大卒（専門学校含む）が812.8万円、大学卒が860.0万円であった。

図表8 モデル退職金（全体）

	勤続年数 (年)	年齢 (歳)	会社都合退職		自己都合退職	
			(社)	(万円)	(社)	(万円)
高校卒	10	28	84	84.3	99	67.5
	20	38	83	244.5	100	211.4
	30	48	84	508.2	97	451.4
	定年退職		103	774.2		
高専・短大卒 (専門学校含む)	10	30	86	89.3	100	71.3
	20	40	84	259.5	96	222.7
	30	50	83	521.5	93	460.0
	定年退職		90	812.8		
大学卒	10	32	90	107.7	104	89.3
	20	42	89	296.0	103	257.9
	30	52	88	595.2	102	541.4
	定年退職		97	860.0		